

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は不適切な会計処理の影響により、2022年3月期の決算発表が延期となり、株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。株主の皆様のご理解とご支援を賜り、6月29日に本総会、そして7月15日に継続会を開催し、第53期の決算報告をさせていただくことができました。心より感謝申し上げます。今回の出来事を真摯に受け止め、再発防止策を着実に実行し、全社一丸となり、信頼回復に向けて全力で取り組んでまいります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、行動制限の緩和等により企業の景況感に改善傾向がみられましたが、ウクライナ情勢等を背景としたグローバルサプライチェーンの混乱や、世界的なインフレ懸念の広がりなど、これまで以上に先行きは不透明な状況となっております。日本国内においても、資源価格の高騰や急激な円安の進行など、景気の先行きが見通せない状況が続いております。

このような情勢のなか、当社グループは、ホームページへのお問い合わせや展示場へのご来場者数が昨年度を大きく上回って推移するとともに、オリンピック関連施設や新型コロナウイルスに関連した病院施設などの大型案件の受注が増加し、業績は堅調に推移いたしました。供給部門についても、岐阜県

可児市に組立工場を新設するなど、能力の向上を図っております。一方で、鋼材を中心として原材料価格の高騰が続いており、製品原価への影響も生じております。引き続き状況を注視してまいります。

現在、展示場の強化に向けて、本建築製品を中心に展示販売を行う総合展示場や、レンタルスペースを併設した展示場などの新規出店を行うとともに、既存店舗のリニューアルに積極的に取り組んでおります。さらに新しい試みとして「公園のような展示場」をコンセプトとした店舗設計を行うなど、進化した店舗づくりを進めております。モバイルスペースをもっと身近に体感・体験いただける場として展示場を提供し、地域社会の活性化に貢献するとともに、動く街づくりに挑戦してまいります。

これからも、2018年4月より掲げている10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する」に沿い、お客様の夢や想いを実現することで、社会から必要とされ、そして社会に貢献する会社を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、重ねてご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2022年7月 代表取締役社長

長喜貴嗣

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

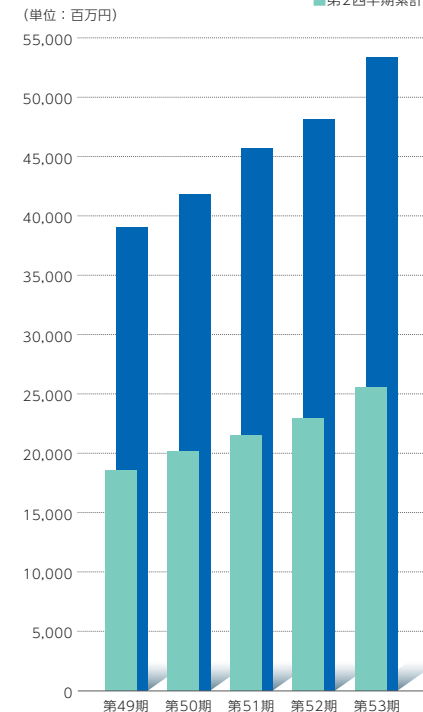
^{*}「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

業績ハイライト（連結）

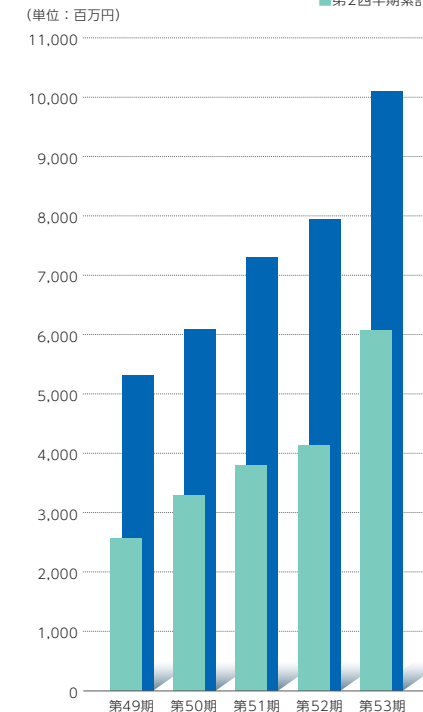
区分	期別	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期 (2021年3月期)	第53期 (2022年3月期)
売上高(百万円)		39,065	41,856	45,754	48,183	53,346
経常利益(百万円)		5,318	6,090	7,303	7,946	10,101
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		3,361	3,838	4,659	5,121	6,382
1株当たり当期純利益(円)		302.46	345.39	419.24	460.88	574.35
総資産(百万円)		57,629	60,302	63,397	64,329	69,617
純資産(百万円)		29,633	32,334	35,768	39,575	43,756

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

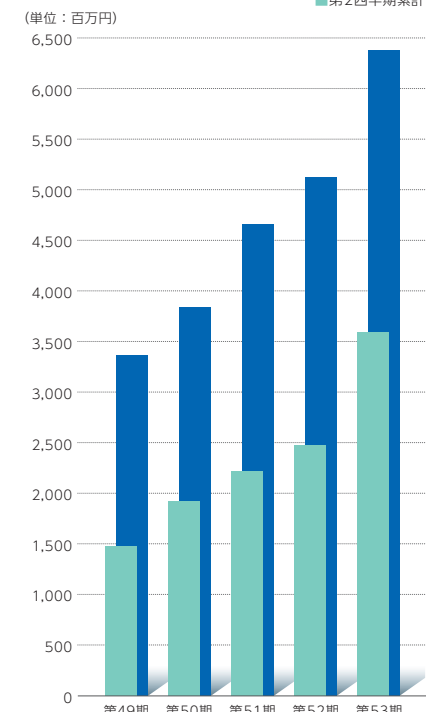
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責事項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。